



2024年7月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月11日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム 上場取引所 東
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 澤田秀太
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 国門量祐 TEL 03-5312-6247
定時株主総会開催予定日 2024年10月30日 配当支払開始予定日 2024年10月31日
有価証券報告書提出予定日 2024年10月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期の連結業績 (2023年8月1日~2024年7月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	3,137	135.6	263	1,244.2	278	1,665.1	248	822.6
2023年7月期	1,331	440.0	19	—	15	—	26	—

(注) 包括利益 2024年7月期 250百万円(874.1%) 2023年7月期 25百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年7月期	170.17	162.07	26.8	10.1	8.4
2023年7月期	20.00	19.01	4.3	0.6	1.5

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	2,869	1,151	40.0	761.11
2023年7月期	2,661	716	26.7	510.52

(参考) 自己資本 2024年7月期 1,147百万円 2023年7月期 711百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年7月期	288	△23	152	1,699
2023年7月期	119	△84	△159	1,266

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2024年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00	22	8.8	2.0
2025年7月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00		—	

(注) 2025年7月期期末配当金の内訳 普通配当 15円 創立20周年記念配当 3円

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,250 ～3,175	△28.3 ～1.2	175 ～415	△33.7 ～57.3	165 ～400	△40.8 ～43.4	—	—	—

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、算出が困難なため非開示といたします。詳細については、添付資料の「今後の見通し」をご確認ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年7月期	1,521,200株	2023年7月期	1,407,560株
2024年7月期	13,786株	2023年7月期	13,786株
2024年7月期	1,461,019株	2023年7月期	1,347,487株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年7月期の個別業績(2023年8月1日～2024年7月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	3,111	136.0	256	1,075.9	272	1,346.7	244	707.3
2023年7月期	1,318	448.2	21	—	18	—	30	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期	167.18	159.22
2023年7月期	22.69	21.34

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	2,727	1,159	42.4	766.86
2023年7月期	2,518	729	28.8	519.88

(参考) 自己資本 2024年7月期 1,155百万円 2023年7月期 724百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経営環境につきましては、世界的な金融引き締めや、物価上昇、金融資本市場の変動等様々な不確定要素をはらんでおりますが、個人消費やインバウンド需要の回復等による景気の緩やかな回復が見られました。クルーズ業界におきましては、国土交通省が発表した「2023年の我が国のクルーズ等の動向について」によりますと、2023年の日本人のクルーズ人口は19.6万人となっており、コロナ禍前の2019年の35.7万人と比較して約55%程度の回復に留まっております。

このような状況のもと、当社グループは、チャータークルーズの催行や、日本発着外国船を中心としたクルーズ旅行の集客、季節ごとの大規模キャンペーンの実施等を行ってまいりました。2023年8月には、株式会社エイチ・アイ・エスと株式会社クルーズプラネットとの3社合同でMSCベリッシマでのチャータークルーズを、2024年6月には、コスタセレーナで、当社としては初めての当社単独でのチャータークルーズを実施いたしました。その他、ゴールデンウィークに催行されたクルーズをはじめとした日本発着外国船のキャビン買取を積極的に行い、その販促に注力しました。それらの販促を強化するために、「真夏のクルーズ旅行『大解放』祭り」や「謹賀新年総額1億円スーパー還元お年玉セール2024年」等の過去最大級規模のキャンペーンを実施し、多くのお客様からのご予約をいただきました。

子会社のえびす旅館においても、インバウンド需要の増加により著しいADR（客室平均単価）の回復が見られました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,137,160千円（前年同期比135.6%増）、営業利益は263,768千円（前年同期比1,244.2%増）、経常利益は278,876千円（前年同期比1,665.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は248,621千円（前年同期比822.6%）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べて207,554千円増加し、2,869,283千円となりました。これは主に、旅行前払金が273,177千円減少した一方、現金及び預金が382,101千円、流動資産その他に含まれる預け金が50,427千円増加したことによります。

(負債)

当連結会計年度末の負債総額は前連結会計年度末に比べて227,458千円減少し、1,718,160千円となりました。これは主に、未払法人税等が39,142千円増加した一方、契約負債が250,096千円、長期借入金が43,068千円減少したことによります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は前連結会計年度末に比べて435,013千円増加し、1,151,122千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入により資本金が92,448千円、資本剰余金が92,448千円増加、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が248,621千円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における各キャッシュ・フローとその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金収支は、288,922千円の収入（前連結会計年度は119,417千円の収入）となりました。これは主に、契約負債の減少250,096千円があったものの、旅行前払金の増加273,177千円、税金等調整前当期純利益265,540千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金収支は、23,651千円の支出（前連結会計年度は84,291千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入50,427千円があったものの、投資有価証券の取得による支出51,948千円、固定資産の取得による支出22,130千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金収支は、152,327千円の収入（前連結会計年度は159,832千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金返済による支出279,692千円があったものの、長期借入れによる収入250,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入183,591千円があったことによるものであります。

以上により当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べて432,529千円増加し、1,699,048千円となりました。

(4) 今後の見通し

2025年7月期（通期）の連結業績予想につきましては、売上高2,250百万円～3,175百万円（前年同期比28.3%減～1.2%増）、営業利益175百万円～415百万円（前年同期比33.7%減～57.3%増）、経常利益165百万円～400百万円（前年同期比40.8%減～43.4%増）を予想しております。

2025年7月期においても、チャータークルーズを含めたキャビン買取を積極的に行うことで、更なる利益率向上を目指していきたいと考えており、リスクテイクによる攻めの動きでリターンを得ていく方針に変更はありません。また、当期においてもチャータークルーズの実施を予定しておりますが、チャータークルーズを行った実績が豊富にあるわけではないため、現時点において、正確な需要予想を行うことが困難な状況です。そのため、売上高、営業利益、経常利益に幅を持たせて開示することといたしました。2024年7月期と同様に、チャータークルーズの集客が計画通りにいった場合は、上限の数値を達成することが可能であると考えております。一方で、チャータークルーズの集客が計画通りにいかない場合や外部環境の悪化によるクルーズ需要の減少が生じた場合は、下限の数値になる可能性もあると考えております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益を算出するにあたっては税効果を考慮する必要があり、その計算根拠となる2026年7月期の予算数値を算出することが現時点では困難であるため、親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値を算出することができず、非開示といたします。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,220,797	1,602,898
旅行前払金	703,558	430,380
未収入金	116,558	147,795
未収還付法人税等	380	-
その他	54,169	111,504
流動資産合計	2,095,464	2,292,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	78,378	78,378
工具、器具及び備品	1,844	1,844
土地	76,651	76,651
減価償却累計額	△17,342	△20,817
有形固定資産合計	139,532	136,056
無形固定資産		
ソフトウェア	42,868	42,241
ソフトウェア仮勘定	44,401	50,575
のれん	36,616	32,935
無形固定資産合計	123,886	125,751
投資その他の資産		
投資有価証券	220,245	209,246
その他	79,762	103,231
投資その他の資産合計	300,007	312,477
固定資産合計	563,426	574,286
繰延資産		
新株予約権発行費	2,837	2,418
繰延資産合計	2,837	2,418
資産合計	2,661,728	2,869,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	232,532	245,908
未払金	34,300	37,731
未払法人税等	6,645	45,787
契約負債	861,908	611,812
その他	13,194	22,901
流動負債合計	1,148,581	964,141
固定負債		
長期借入金	785,891	742,823
その他	11,145	11,194
固定負債合計	797,037	754,018
負債合計	1,945,618	1,718,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,953	567,402
資本剰余金	391,453	483,902
利益剰余金	△116,002	132,618
自己株式	△35,280	△35,280
株主資本合計	715,123	1,148,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,574	△1,341
その他の包括利益累計額合計	△3,574	△1,341
新株予約権	4,561	3,822
純資産合計	716,109	1,151,122
負債純資産合計	2,661,728	2,869,283

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
売上高	1,331,540	3,137,160
売上原価	989,627	2,402,193
売上総利益	341,912	734,966
販売費及び一般管理費	322,289	471,198
営業利益	19,622	263,768
営業外収益		
受取利息	2,512	1,809
受取配当金	0	0
為替差益	777	17,126
助成金収入	36	—
補助金収入	—	8,340
投資事業組合運用益	—	413
ポイント収入額	2,354	1,603
その他	1,097	2,070
営業外収益合計	6,777	31,364
営業外費用		
支払利息	6,631	7,771
新株予約権発行費償却	1,944	2,559
投資有価証券償還損	—	1,722
投資事業組合運用損	2,024	—
支払解決金	—	4,000
その他	—	202
営業外費用合計	10,600	16,255
経常利益	15,799	278,876
特別損失		
投資有価証券評価損	5,000	13,336
特別損失合計	5,000	13,336
税金等調整前当期純利益	10,798	265,540
法人税、住民税及び事業税	2,662	40,481
法人税等調整額	△18,811	△23,562
法人税等合計	△16,148	16,919
当期純利益	26,946	248,621
親会社株主に帰属する当期純利益	26,946	248,621

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
当期純利益	26,946	248,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,194	2,233
その他の包括利益合計	△1,194	2,233
包括利益	25,752	250,854
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	25,752	250,854
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	396,545	313,045	△142,949	△35,144	531,495	△2,380	△2,380	1,630	530,746
当期変動額									
新株の発行（新株予約権の行使）	3,733	3,733			7,466				7,466
新株の発行（第三者割当増資）	74,675	74,675			149,350				149,350
親会社株主に帰属する当期純利益			26,946		26,946				26,946
自己株式の取得				△135	△135				△135
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△1,194	△1,194	2,930	1,736
当期変動額合計	78,408	78,408	26,946	△135	183,627	△1,194	△1,194	2,930	185,363
当期末残高	474,953	391,453	△116,002	△35,280	715,123	△3,574	△3,574	4,561	716,109

当連結会計年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	474,953	391,453	△116,002	△35,280	715,123	△3,574	△3,574	4,561	716,109
当期変動額									
新株の発行（新株予約権の行使）	92,448	92,448			184,897				184,897
新株の発行（第三者割当増資）	-	-			-				-
親会社株主に帰属する当期純利益			248,621		248,621				248,621
自己株式の取得				-	-				-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						2,233	2,233	△738	1,495
当期変動額合計	92,448	92,448	248,621	-	433,518	2,233	2,233	△738	435,013
当期末残高	567,402	483,902	132,618	△35,280	1,148,642	△1,341	△1,341	3,822	1,151,122

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,798	265,540
減価償却費	18,316	18,814
のれん償却額	3,681	3,681
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,000	13,336
受取利息及び受取配当金	△2,512	△1,810
支払利息	6,631	7,771
支払解決金	—	4,000
為替差損益 (△は益)	△777	△14,930
助成金収入	△36	—
補助金収入	—	△8,340
契約負債の増減額 (△は減少)	530,243	△250,096
旅行前払金の増減額 (△は増加)	△400,312	273,177
未収入金の増減額 (△は増加)	△58,061	△31,615
未払金の増減額 (△は減少)	9,001	3,430
未払費用の増減額 (△は減少)	1,000	7,823
その他	777	3,249
小計	123,751	294,034
利息及び配当金の受取額	2,487	2,188
利息の支払額	△6,631	△7,771
解決金の支払額	—	△4,000
助成金の受取額	36	—
補助金の受取額	—	8,340
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△225	△3,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,417	288,922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△32,656	△22,130
投資有価証券の償還による収入	—	50,427
投資有価証券の取得による支出	△51,634	△51,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,291	△23,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△318,294	△279,692
自己株式の取得による支出	△135	—
株式の発行による収入	149,350	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,443	183,591
新株予約権の発行による収入	2,953	567
新株予約権の発行による支出	△1,150	△2,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159,832	152,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	777	14,930
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△123,929	432,529
現金及び現金同等物の期首残高	1,390,448	1,266,519
現金及び現金同等物の期末残高	1,266,519	1,699,048

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり純資産額	510円52銭	761円10銭
1株当たり当期純利益	20円00銭	170円17銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	19円01銭	162円07銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	26,946	248,621
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	26,946	248,621
普通株式の期中平均株式数(株)	1,347,487	1,461,019
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	70,335	72,986
(うち新株予約権(株))	(70,335)	(72,986)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2021年7月5日開催の取締役会決議による第4回新株予約権 新株予約権の数 225個 (普通株式 22,500株)	2023年6月28日開催の取締役会決議による第7回新株予約権 新株予約権の数 399個 (普通株式 39,900株) 2023年12月26日開催の取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 499個 (普通株式 49,900株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。